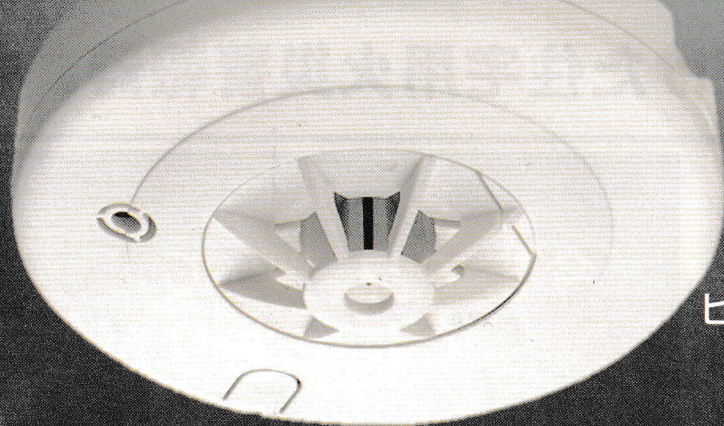




ピー〜...。
イ〜...。
かじです...。かじて...。

とりかえましょう

あなたのために

家族のために...

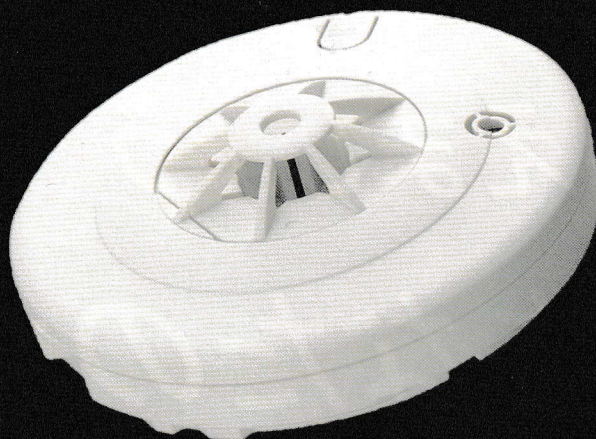
**住宅用火災警報器の
寿命は約10年です。**

横浜市消防局

10年間見守り続けた住宅用火災警報器、もう限界です。

寿命は約10年

今まで見守って
くれてありがとう。



でも、そろそろ
お別れの時期なんです。

平成23年6月に住宅用火災警報器の設置が義務化されてから令和4年6月で11年が経過しました。

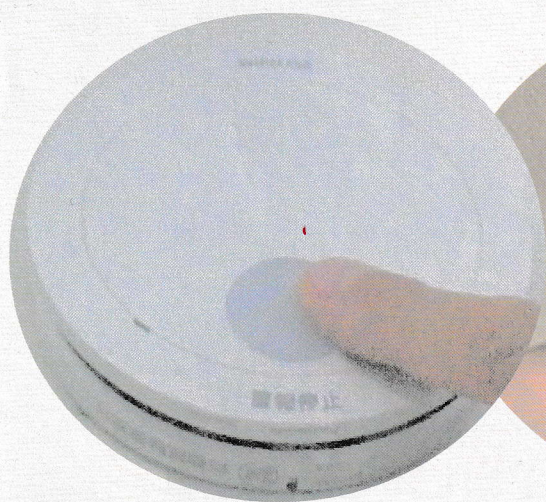
住宅用火災警報器の電池や機器の寿命は約10年と言われており、皆さんの自宅に設置されている住宅用火災警報器も間もなく交換の時期を迎えます。

いざという時、正常に作動するように10年経過した警報器や、点検の結果、異常があった警報器は新しいものにとりかえましょう。
取付、点検の支援
新しい警報器を買ったが「どこに取り付けるのかわからない」、「高い所に付けるのが不安」や点検をしたい

が「やり方がわからない」などお困りの場合、各区の消防署までご相談ください。状況に応じて消防職員がお手伝いをいたします。

定期的な点検しましょう。

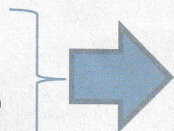
点検方法



ボタンを押しましょう。 引っ張ってみましょう。 長い棒などで押しましょう。

正常な場合、音声や警報音が鳴ります。

何も反応しない
設置から10年以上経過している

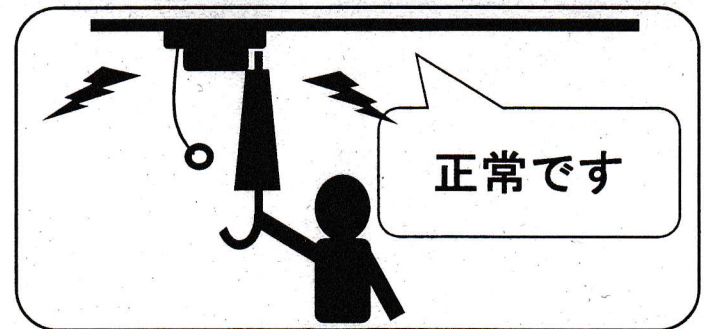


新しいものに交換しましょう。

※このチラシを見た皆様へ※

※ご自宅の住宅用火災警報器の 点検をお願いします。

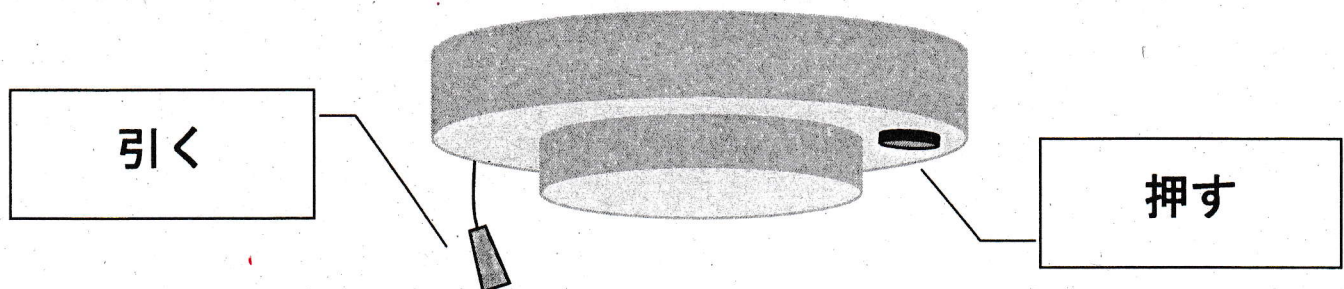
住宅用火災警報器の電池の寿命は約10年です。
住宅用火災警報器が設置義務化されてから
10年以上経過しているので、気づかいうちに
電池が切れているかもしれません。
皆様の生命と財産を守る大切な機器ですので、
この機会に各家庭での点検をお願いします。



※マンション等の共同住宅で、自動火災報知設備が設置されている場合は
今回の点検の対象外です。絶対に操作しないでください。

1 ご自分で点検します。

住宅用火災警報器の設置状況及び作動状況を各家庭で点検します。
作動状況は、住宅用火災警報器の引き紐を引く又はテストボタンを押し、警報音が
鳴るかを確認します。



高い台に乗ると落ちる可能性があるので傘などでボタンを押すことをおすすめします。
点検方法がわからない場合は、消防職員による点検（防災訪問）を希望することもできます。

2 点検結果を教えてください。

点検したら、右の二次元コードを読み取り、点検結果を教えてください。
※二次元コードの読み取りができない場合は、
川和消防出張所までご連絡ください。



横浜市都筑消防署川和消防出張所

TEL:045-931-0119